平成 16 年 7 月 30 日

総務省情報通信政策研究所
調査研究部

# ２００４年我が国の Web 上のコンテンツ量推計調査の集計分析結果について

・我が国のインターネット上の Web ページの総データ量は１３，６０９ギガバイト（１３．６テラバイト）。前回調査比で３４．０８％増。６年間で４４．６倍。

・ 公共図書館約 4 館分相当の情報に匹敵（1 館当り約３０万冊、3 テラバイトで換算）。

## １．WWW総コンテンツ量の推移

＜総サーバ数・総データの伸び大きく、総ファイル数の伸びは低調＞

総サーバ数は　４２５，０００台　　（前回調査比　３７．９９％アップ）
総ページ数は　　８，５９０万ページ　（　同　　１５．４９％アップ）
総ファイル数は　２９，７１３万ファイル（　同　　６．３９％アップ）
総データ量は　　１３，６０９ギガバイト（　同　　３４．０８％アップ）

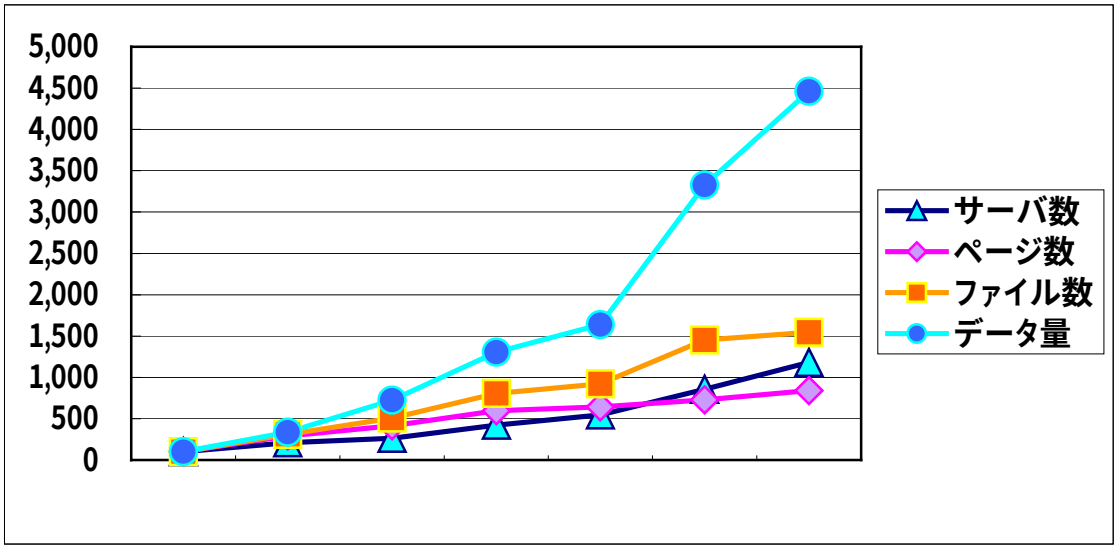
この 6 年間で、総サーバ数は１１．８倍、総ファイル数は８．４倍、総ページ数は１５．４倍、総データ量は４４．６倍。

【JP ドメイン総コンテンツ量の推移】

| 推計値 | 1998 年 2 月 | 1999 年 2 月 | 2000 年 2 月 | 2001 年 2 月 | 2002 年 2 月 | 2002 年 11 月 | 2004 年 2 月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総サーバ数（台） | 36,000 | 75,000 | 95,000 | 152,000 | 197,000 | 308,000 | 425,000 |
| 総ページ数（万 P） | 1,023 | 2,953 | 4,255 | 6,107 | 6,558 | 7,438 | 8,590 |
| 総ファイル数（万 F） | 1,891 | 5,822 | 9,626 | 15,260 | 17,388 | 27,421 | 29,173 |
| 総データ量（GB） | 305 | 1,024 | 2,214 | 3,980 | 5,002 | 10,150 | 13,609 |

【1998 年 2 月を 100 とする指数で見た総コンテンツ量の推移】

| 指数 | 1998 年 2 月 | 1999 年 2 月 | 2000 年 2 月 | 2001 年 2 月 | 2002 年 2 月 | 2002 年 11 月 | 2004 年 2 月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総サーバ数 | 100 | 208 | 264 | 422 | 547 | 856 | 1,181 |
| 総ページ数 | 100 | 289 | 416 | 597 | 641 | 727 | 840 |
| 総ファイル数 | 100 | 308 | 509 | 807 | 920 | 1,451 | 1,544 |
| 総データ量 | 100 | 336 | 726 | 1,305 | 1,640 | 3,328 | 4,462 |

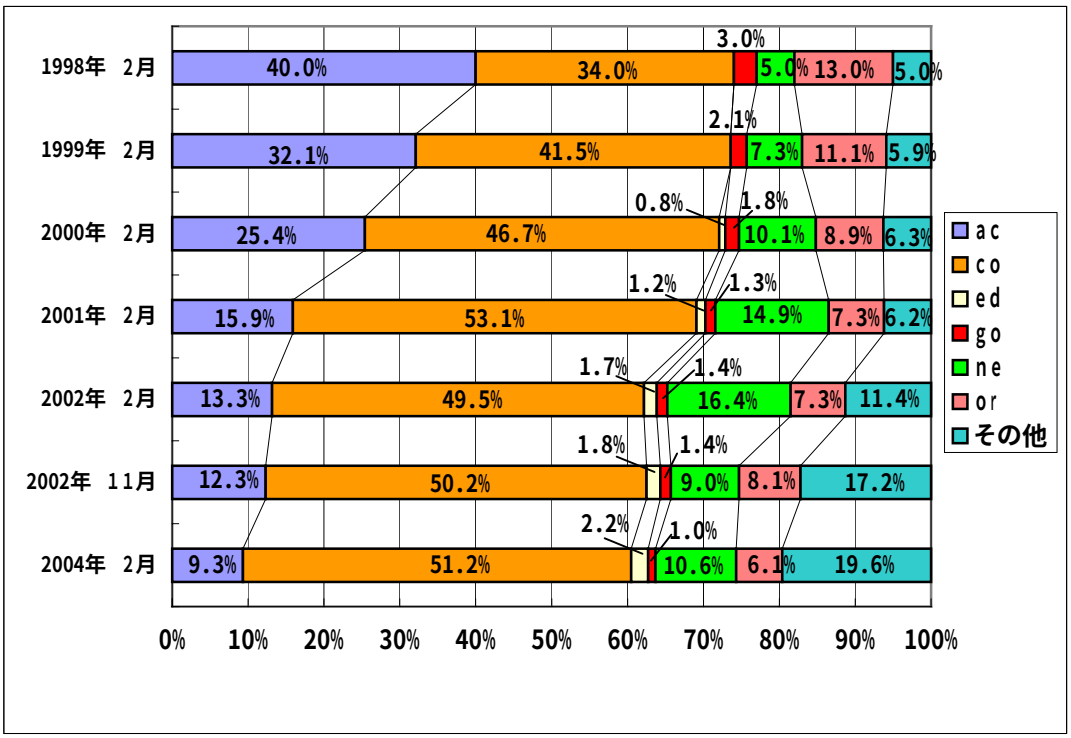



## ２．主要なトレンド

＜ＪＰドメインの総サーバ数の順調な伸び－構成比では ac ドメインの縮小、co ドメインの拡大。汎用ＪＰドメインの導入の影響。＞

調査開始当初（１９９８年当時）最もシェアが大きかった ac ドメイン（大学等）が低下。４０％（１９９８年）→９．３％（２００４年）。co（会社等）ドメインは３４％（１９９８年）から順調に増加、この４年間５０％前後を推移（２００４年は５１．２％）。その他のドメインは２００１年時点に比べ構成比では 3 倍。汎用ＪＰドメインの導入の影響が読み取れる。

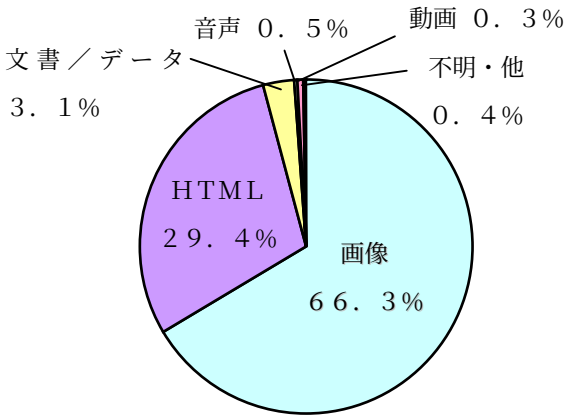
【ＪＰドメイン総サーバ数のセカンドレベルドメイン別シェアの推移】



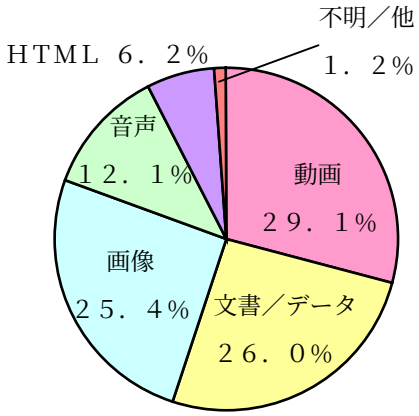
## ＜ファイル数では画像（静止画）が多いが、データ量では動画＞
## ＜近年、動画・音声ファイルの伸び大、Web コンテンツのマルチメディア化傾向を示唆＞

動画はファイル数では全体の０．３％であるがデータ量では２９．１％を占める。近年、動画・音声ファイルのデータの伸びが大きく、これらのマルチメディアデータの増加が全体のデータ量を押し上げ。

【総ファイル数におけるファイルタイプ別の比率】




【総データ量におけるファイルタイプ別の比率】



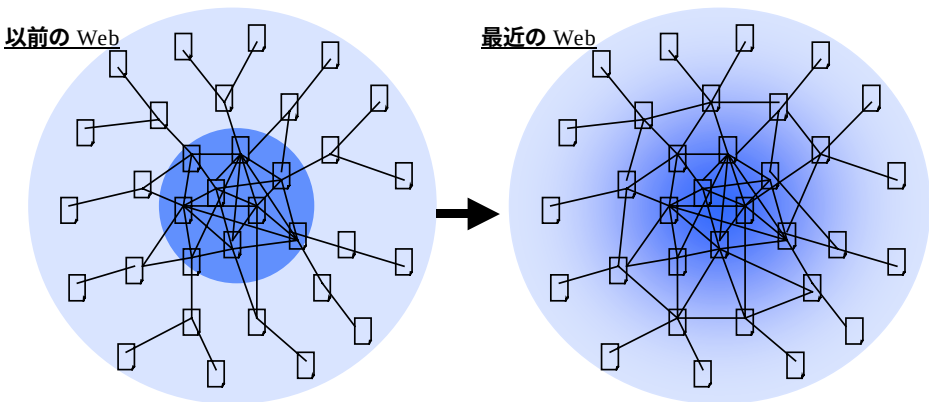

※2004年2月調査

## ＜Web リンクの２極構造の変化。中間的リンク規模の Web ページの増加＞

１９９８年調査開始当初は、リンクの多く貼られている Web ページとそうでない Web ページとの２極構造（リンクが密な部分－有名サイトの Web ページなど－とその周辺部にリンクの疎な部分－それ以外のサイトの Web ページ）を想定、サーチロボットの調査結果もそのような構造を示唆するものであった。しかしながら、最近の調査結果からは、Web リンク構造の２極構造が変化、さまざまな数のリンク数をもつ Web ページ（中間的リンク規模の Web ページ）が多数出現、リンクが多く貼られているページ（密な部分）とリンクの少ないページ（疎な部分）の間を埋めるかたちとなっていることを示唆する結果となっている。

これは、Web の利用が一般にまで広く普及するとともに、その本来的な特徴ともいえる、情報を「つなぐ」という機能が一般の Web ページにも広く浸透、ある意味で Web 構造の成熟化が進んでいることを示していると考えられる。

【中間的リンク規模の Web ページの増加】



## ３．その他

－本調査は我が国のインターネット空間のコンテンツ量の把握を目的として、１９９８年から実施。今年で７年目。前回調査は２００２年１１月。今年は２００４年２月に実施。
－サーチロボットがインターネット上のＪＰドメインの Web ページにアクセス、ファイルのリンクをたどりながら、ファイル情報を収集。その収集結果をもとに統計的推測を加えて、Web のサーバ数、ファイル数、ページ数、及びデータ量の総数を推計。
（詳細は http://www.soumu.go.jp/iicp に掲載）

連絡先：　総務省情報通信政策研究所調査研究部
吉武調査研究部長
佐伯主任研究官・田畑研究官

東京都千代田区霞が関 2-1-2
中央合同庁舎第２号館 11 階
TEL: 03-5253-5496
FAX: 03-5253-5497
URL: http://www.soumu.go.jp/iicp